

小代中だより

「自ら未来を切り拓く
心豊かな生徒の育成」

香美町立小代中学校

No. 11 令和7年1月7日



初春のお喜びを申し上げます

旧年中は本校の教育に対しまして、ご理解とご協力を賜りましたこと、心よりお礼申し上げます。

今年も職員一同、子どもたちの健やかな成長のために力を合わせ、教育に邁進していきたいと思っております。

本年もよろしくお願いいたします。

令和7年 小代中学校 職員一同



13日間の冬休みがあっという間に終わりました。穏やかな年末年始を迎えられましたでしょうか。昨年の元旦を思い出しながら、1年の始まりを穏やかに過ごせることの有り難さをあらためて感じた元旦でした。大規模災害や戦争・紛争のニュースが止まない今の世の中で、平和であること、健康であること、人と繋がっていること、そんな幸せを心より願わずにはられません。今年が明るく輝かしい一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

さて、2学期の終業式でお話した「健康で過ごす（心も体も）」「3学期をイメージする」「学びを止めない」という3つのことは意識できたでしょうか。今日から3学期が始まります。それぞれがなりたい自分の姿、ありたいクラスの姿をしっかりと思い描き、それに向け今できることを、着実に実行していきましょう。

始業式では、思い描いた理想の自分に近づくために大事にしたい3つの事をお話しました。

- 1 強い意志・・・ぶれない気持ち
- 2 継続する力・・・粘り強く続ける力
- 3 自己調整する力・・・自分を客観的に見て、取組を改善・修正して、調整できる力

これらの力は、学習する際にも必要とされるものです。それぞれが自分の目標を達成するために、そして思い描く理想の自分に近づくためには、一つ一つ目の前の壁を越えていかなければなりません。目の前に立ちはだかる壁は、今はとても高く遠くに感じるかもしれませんが、一つ一つ小さな壁を越える体験を積み重ねることで、次第に越えたかった高い壁は手の届く高さになっていくことでしょう。

寒さの厳しい1月、2月、山々の木々は白い雪をかぶりながらも、じっと地中に根を張り、春の訪れを待っています。私たちもこの3学期にしっかりと新学期を迎えるための準備をし、それぞれがしっかりと太い根っこを張り、暖かな春に、柔らかな芽を出すことができるようにしたいですね。



校長室のヒヤシンスは小さな蕾を見せ始めました。今年は少し早いかも…

家族を思う心



2学期の終わりに3年生の道徳で「チキンライス」という歌の歌詞を使った道徳の授業をされていました。「チキンライス」というのは教科書にある教材ではなく担任の先生の自主教材です。私は知らなかったのですが、「あ、その歌知っている。」という先生方も多くおられ、どんな内容なのか興味津々で授業を見に行きました。

子どもの頃、家族で外食した時、「何でも好きなもん頼み」と母に言われても、家の家計を心配し、気を遣って「チキンライス」と答える主人公。大人になって、何でも買えて、遠慮なく食べられる主人公は、歌詞の最後で「やっぱり俺はチキンライスがいいや」と歌う。

子どもながらに、親のことを心配して、いつもチキンライスを食べていた主人公の優しさに心がぎゅっと締め付けられる気がしました。子どもであっても、心のどこかで親のことを心配し、気遣っている。親は子どもの喜ぶ顔が何よりもうれしく、少しくらい無理をしてでも願いを叶えてやりたいと思う。そんな互いを思い合う光景が目には浮かびました。



何を食べるのか、ということも大切なのですが、誰と食べ、どんな思いを持って食べ、どれだけ幸せな時間を共有するのかが、とても大切なことなのだな・・・と、授業を参観しながら考えました。

年末年始、ゆっくりと家族で食事をしながら、幸せな時が過ごせたでしょうか。家族で過ごす幸せな時間は、子どもたちの心を温かくしてくれます。中学生は、少しずつ、親の気持ち、家族の気持ちを汲み取り、しっかりと感謝の気持ちを持てるようになる時期です。物的な豊かさだけでは真に心は満たされません。質的な（心の）豊かさがあるこそ、心は満たされるのではないのでしょうか。しっかりと温まった心で、2025年も良いスタートを切りましょう。

体育館改修工事が終了しました



昨年の夏から始まった体育館改修工事が終了し、冬休みから使用できるようになりました。フロア、壁面が新しく張り替えられ、エアコンも取り付けられました。体育館玄関、トイレなどもきれいになり、全体にとっても明るくなりました。既に冬休み中の部活動で使用していますが、3学期はより快適になった体育館で授業や部活動などが行えることをとてもうれしく思います。



ご寄付をいただきました



今年も小代中学校第10期卒業生の上治義和さん（大阪市在住）から、電子黒板2台をご寄付いただきました。上治さんは、ふるさとの子どもの学びに役立ててほしいと、今年もご寄付してくださいました。「子どもたちには未来があるからなあ」と言われる上治さんの言葉には、ふるさとへの確かな思いが感じられます。ご寄付いただいた電子黒板を授業でも有効に使い、子どもたちの学びの充実に役立てさせていただきます。

また、小代にある株式会社アイム様からも、ご寄付をいただいています。これから、具体的な物品を選定していくことになっています。

ご寄付いただきました、上治様、(株)アイム様には心よりお礼申し上げます。

